

# 文教警察企業常任委員会資料

令和8年3月6日

警察本部

# 1 目次

<b>1</b>	<b>表紙・目次</b> . . . . .	<b>01-02</b>
<b>2</b>	<b>予算議案【議案第45号】令和7年度宮崎県一般会計補正予算（第8号）</b> . . . . .	<b>03-08</b>
	（1）令和7年度補正歳出予算について	<b>03-07</b>
	（2）令和7年度繰越明許費について	<b>08</b>
<b>3</b>	<b>報告承認</b> . . . . .	<b>09</b>
	報告第2号	
	専決処分の承認を求めることについて	
<b>4</b>	<b>報告事項</b> . . . . .	<b>10</b>
	損害賠償を定めたことについて	
<b>5</b>	<b>その他報告事項</b> . . . . .	<b>11-19</b>
	令和7年中の交通事故情勢について	

## 2 予算議案

### 令和7年度補正歳出予算について

### 警察本部会計課

#### 【議案第45号】令和7年度宮崎県一般会計補正予算（第8号）

令和7年度2月補正歳出予算説明資料（部別総括表） 公安委員会

（単位：千円）

区分	令和7年度					令和6年度		
	補正前の額	補正額	財源内訳			補正後の額	当初予算額	最終予算額
			国庫支出金	その他特定	一般財源			
公安委員会	30,801,919	-904,579	-199,496	-286,271	-418,812	29,897,340	29,931,629	29,294,336
一般会計	30,801,919	-904,579	-199,496	-286,271	-418,812	29,897,340	29,931,629	29,294,336
警察本部	30,801,919	-904,579	-199,496	-286,271	-418,812	29,897,340	29,931,629	29,294,336

令和7年度2月補正歳出予算説明資料（目別総括表） 警察本部

（単位：千円）

区分	令和7年度					令和6年度		
	補正前の額	補正額	財源内訳			補正後の額	当初予算額	最終予算額
			国庫支出金	その他特定	一般財源			
警察本部 計	30,801,919	-904,579	-199,496	-286,271	-418,812	29,897,340	29,931,629	29,294,336
一般会計	30,801,919	-904,579	-199,496	-286,271	-418,812	29,897,340	29,931,629	29,294,336
（款）警察費	30,801,919	-904,579	-199,496	-286,271	-418,812	29,897,340	29,931,629	29,294,336
（項）警察管理費	26,566,495	-592,456	-51,963	-205,480	-335,013	25,974,039	26,369,441	26,075,753
（目）公安委員会費	14,165	-505	0	0	-505	13,660	14,152	13,388
（目）警察本部費	23,623,303	-461,320	0	-104,152	-357,168	23,161,983	22,687,996	22,699,850
（目）装備費	434,566	-5,368	-51,963	0	46,595	429,198	731,453	722,967
（目）警察施設費	1,704,726	-102,253	0	-102,253	0	1,602,473	1,625,407	1,456,129
（目）運転免許費	789,735	-23,010	0	925	-23,935	766,725	1,310,433	1,183,419
（項）警察活動費	4,235,424	-312,123	-147,533	-80,791	-83,799	3,923,301	3,562,188	3,218,583
（目）警察活動費	4,235,424	-312,123	-147,533	-80,791	-83,799	3,923,301	3,562,188	3,218,583

## 2 予算議案

### 令和7年度補正歳出予算について

### 警察本部会計課

#### 【議案第45号】令和7年度宮崎県一般会計補正予算（第8号）

令和7年度2月補正歳出予算説明資料 【一般会計（事項別）】 警察本部

（単位：千円）

目	事項				補正後の額	
	補正額	事項名	補正前の額	補正額		説明及び事業名
公安委員会費	-505	委員報酬	6,816	-85	公安委員の報酬【執行残に伴う補正】	6,731
		委員会運営費	7,349	-420	公安委員会運営に要する経費【執行残に伴う補正】 1 警察署協議会運営費 -11 2 その他公安委員会運営経費 -409	6,929
警察本部費	-461,320	職員費	20,657,261	-437,158	職員の人件費【執行残等に伴う補正】	20,220,103
		運営費	2,966,042	-24,162	警察職員設置に要する経費【執行残に伴う補正】 1 会計年度任用職員雇用報酬 -8,336 2 駐在所等協力家族報償費・駐在所等接遇費・交番等接遇費 -40 3 各種表彰等警察運営報償費 -98 4 警察職員の健康診断手数料 -2,167 5 電子計算組織運用経費 -104 6 警察業務電算化推進事業 -8,718 7 政策調整研究費 -1,400 8 カラーガード隊員運営事業 -711 9 警察学校給食の民間委託事業 -290 10 留置施設視察委員会設置に要する経費 -166 11 落とし物の早期返還を実現するための窓口充実・強化事業 -188 12 職員のメンタルヘルスケア支援事業 -60 13 その他職員設置経費 -1,884	2,941,880

## 2 予算議案

令和7年度補正歳出予算について

警察本部会計課

【議案第45号】令和7年度宮崎県一般会計補正予算（第8号）

（単位：千円）

目	補正額	事項名	補正前の額	補正額	事項	補正後の額
					説明及び事業名	
装備費	-5,368	装備費	434,566	-5,368	警察機動力及び警察装備の計画的整備充実強化と装備活動に要する経費【執行残等に伴う補正】 1 警察装備資器材購入費（国1/2 県1/2, 県単） -644 2 警察活動用車両維持費（国1/2 県1/2, 県単） -2,320 3 警察車両の計画的更新整備事業 -558 4 警察ヘリコプター警察活動事業費 -702 5 警察用航空機備品のリプレイス事業 -1,144	429,198
警察施設費	-102,253	警察施設費	1,369,258	-92,555	警察施設の計画的整備と適正な維持管理に要する経費【執行残等に伴う補正】 1 西階交番移転経費 -7,070 2 その他警察施設営繕費 -85,485	1,276,703
		警察署庁舎建設費	335,468	-9,698	警察署庁舎建設に要する経費【執行残等に伴う補正】 1 宮崎西警察署（仮称）整備事業 -50,787 2 都城警察署整備事業 41,089	325,770

## 2 予算議案

### 警察本部会計課

#### 令和7年度補正歳出予算について

#### 【議案第45号】令和7年度宮崎県一般会計補正予算（第8号）

（単位：千円）

目	補正額	事項名	補正前の額	補正額	事項	補正後の額
					説明及び事業名	
運転免許費	-23,010	運転免許費	789,735	-23,010	運転免許試験及び各種講習その他運転免許事務処理に要する 経費【執行残に伴う補正】 1 運転免許証更新時、安全運転管理者講習委託料 -1,213 2 運転免許試験及び運転免許事務関係等備品購入費 -247 3 運転適性相談充実強化事業 -217 4 原動機付自転車講習委託料 -1,914 5 運転免許事務委託料 -3,083 6 道路交通法に伴う講習体制整備事業費 -595 7 運転免許試験場コースの一般開放事業費 -111 8 高齢者講習等直営事業 -70 9 道路交通法の一部を改正する法律に伴う運転免許整備事 業 -214 10 運転免許証・マイナンバーカード一体化事業 -1,365 11 運転免許証ICカード化運営事業 -5,000 12 道路交通法改正に伴う整備事業 -1,800 13 その他運転免許試験及び運転免許事務関係等経費 -7,181	766,725

## 2 予算議案

### 令和7年度補正歳出予算について

### 警察本部会計課

【議案第45号】令和7年度宮崎県一般会計補正予算（第8号）

（単位：千円）

目	事項				説明及び事業名	補正後の額
	補正額	事項名	補正前の額	補正額		
警察活動費	-312,123	一般活動費	1,763,397	-91,758	生活安全、刑事及び交通等警察活動全般に要する経費【執行残等に伴う補正】 1 風俗営業管理者等講習委託料 -19 2 自動車保管場所証明事務に要する経費 -4,100 3 警察活動用備品購入費（国1/2 県1/2, 県単） -5,927 4 被留置者経費 -2,743 5 国スポ開催に伴う射撃場標的装置更新事業 -14,575 6 国スポ・障スポ開催に伴う警衛・警備対策事業 -14,153 7 自動車安全運転センター等負担金 -154 8 総合指揮室資機材整備事業 -3,761 9 犯罪被害者支援推進事業費 -108 10 暴力団排除活動推進事業 -419 11 少年サポートセンター運営事業費 -46 12 放置駐車違反処理・管理システム等整備事業 -201 13 警察航空隊体制強化事業 -15 14 地域の安全を守る街頭活動強化事業 -8,007 15 産学官が連携したサイバーセキュリティ対策事業 -345 16 交通警察活動用備品強化事業 -3,919 （国1/2 県1/2, 県単） 17 サイバー攻撃対策強化事業 -500 18 サイバー犯罪捜査支援強化事業 -1,367 19 移動交番車活動推進事業 -208 20 特殊詐欺高齢者等被害対策事業 -1,340 21 O S S（ワンストップサービス）システムの運営事業 -16,496 22 その他警察活動経費等（国1/2 県1/2, 県単） -13,355	1,671,639
		交通安全施設整備事業費	2,009,623	-220,365	交通安全施設整備事業に要する経費【国庫補助決定等に伴う補正】 1 交通管制及び信号機改良等整備費 -120,239 （国1/2 県1/2） 2 信号機新設、道路標識及び道路標示等整備費 -476 3 円滑化対策事業費（国1/2 県1/2） -56,880 4 コンクリート製信号機柱の鋼管柱化 -42,770 （国1/2 県1/2）	1,789,258

## 2 予算議案

### 警察本部会計課

#### 令和7年度繰越明許費について

【議案第45号】 令和7年度宮崎県一般会計補正予算（第8号）

令和7年度 繰越明許費説明資料 警察本部

課名	款	項	目	事業名	予算額	理由
警察本部	警察費	警察管理費	警察施設費	宮崎西警察署（仮称）整備事業	106,414	関係機関との調整に日時を要したことによるもの。 完成予定 令和 8. 9.30
警察本部	警察費	警察管理費	警察施設費	都城警察署整備事業	88,423	用地交渉等に日時を要したことによるもの。 完成予定 令和 8. 7.31

### 3 報告承認

警察本部会計課

報告第2号  
専決処分の承認を求めることについて

令和7年度宮崎県一般会計補正予算（第7号）  
令和8年2月2日専決

1 補正の理由  
国家賠償請求事件に伴う経費を補正するもの。

2 補正予算額  
一般会計 3,957万7千円

3 国家賠償請求事件

(1) 概要

原告個人（甲）及び個人（乙）（以下「原告」という。）は、平成31年1月20日に自死した宮崎県警察官の両親であり、子供が自死した理由は勤務先である警察署の上司によるパワーハラスメント及び過重労働によるものであるとして、宮崎県（以下「被告」という。）に対し、国家賠償法（昭和22年法律125号）に基づく損害賠償を求め、令和3年8月31日付けで宮崎地方裁判所に提訴したもので、本事件は令和8年2月14日に判決が確定した。

(2) 判決内容

ア 被告は、原告ら各自に対し、1,457万6,431円及びこれに対する平成31年1月21日から支払済みまで年5分の割合による金員を払え。

イ 訴訟費用は被告の負担とする。

ウ この判決は、前記アに限り、仮に執行することができる。

(3) 判決後の対応

令和8年2月17日、原告に対し、以下の金額を支払った。

支払額：3,946万8,182円

（内訳）損害賠償額	1,457万6,431円を2名分
年5分の割合による金員	515万7,660円を2名分

## 4 報告事項

警察本部監察課

### 損害賠償額を定めたことについて

事案発生日及び事案発生場所	事 案 内 容	相 手 方	損害賠償額	専決年月日
令和7年7月4日 宮崎市大字広原4607番地6株式会社リック資材置き場	録画データの破損事故	兵庫県加古川市野口町坂元68番地の1上月ビル301号室 株式会社リック 代表取締役 小 倉 考 喜	円 580,800	令和8年 1月6日
令和7年8月10日 児湯郡高鍋町大字持田1392番地8ハイツパティオ21南東側駐車場	物 損 事 故	大阪府 個 人	489,379	令和8年 1月6日
令和7年8月25日 都城市東町4街区17号都城警察署	保管物件の紛失事故	福井県 個 人	128,100	令和8年 1月6日
令和7年9月4日 福岡県福岡市中央区六本松二丁目5番1号先路上	県有車両による交通事故	福岡県福岡市南区桜原4丁目8番1号 西日本鉄道株式会社桜原自動車営業所 所長 佐 藤 浩 一	4,620	令和8年 1月6日

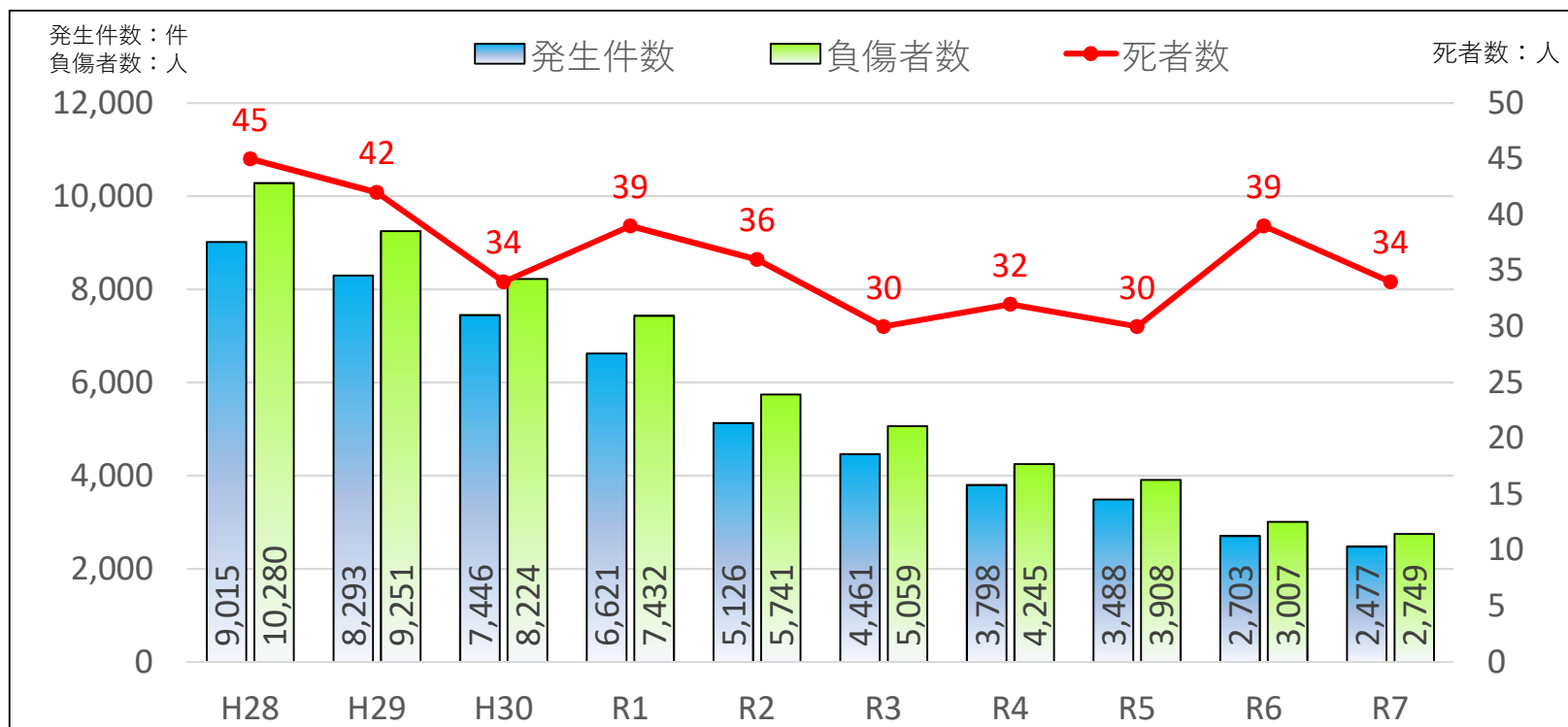
## 5 その他報告事項

### 令和7年中の交通事故情勢について

警察本部交通企画課

#### 1 交通事故発生状況

##### (1) 発生件数・負傷者数・死者数の推移



#### ○ 令和7年

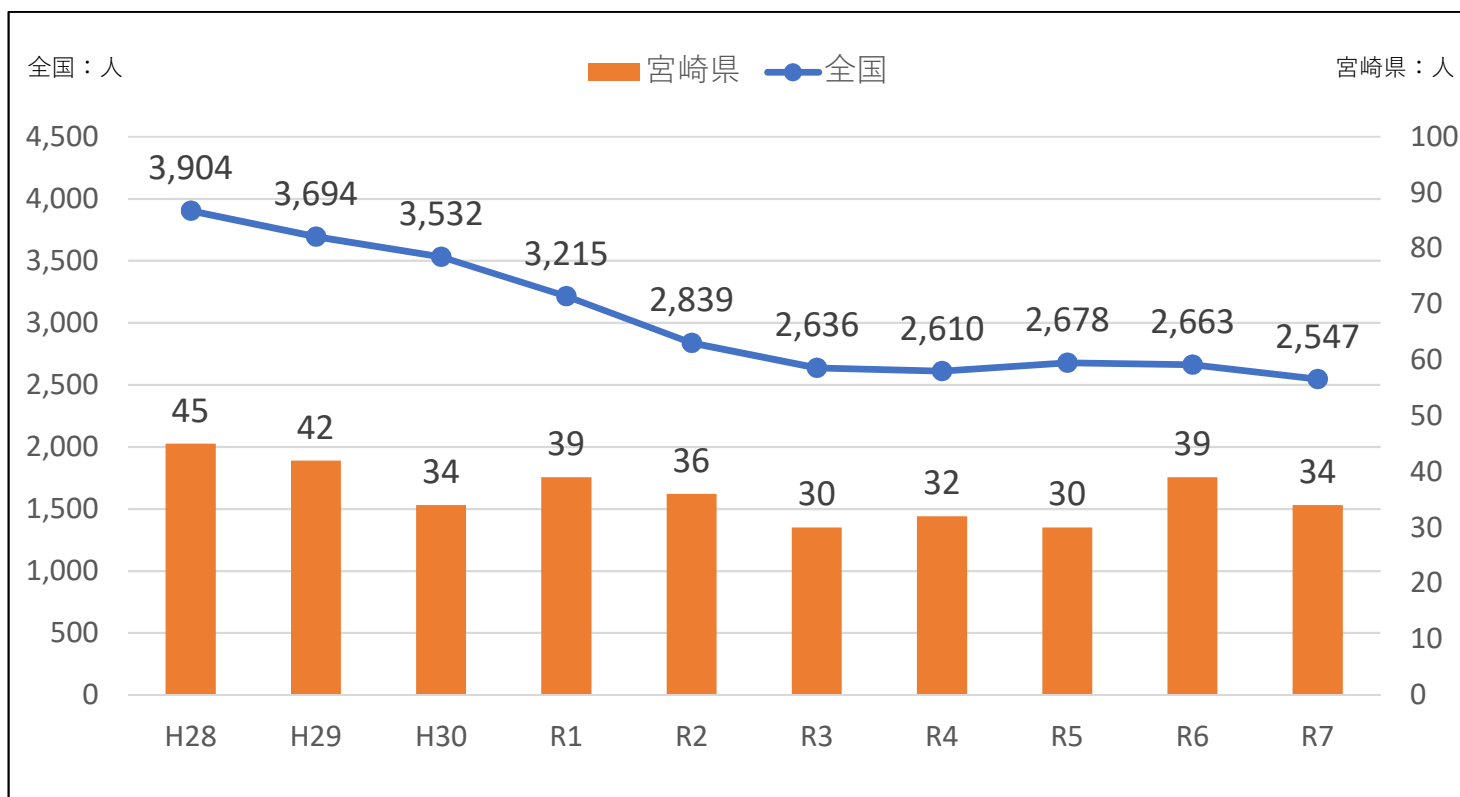
- ・ 発生件数は2,477件(前年比-226件)で、最多であった平成22年(11,000件)以降で最少を更新
- ・ 負傷者数は2,749人(前年比-258人)で、平成22年以降で最少を更新
- ・ 死者数は34人(前年比-5人)で、平成30年以降8年連続で30人台と横ばいで推移

## 5 その他報告事項

### 令和7年中の交通事故情勢について

警察本部交通企画課

#### (2) 交通事故死者数の全国との対比



- 全国の死者数  
年々減少傾向で推移  
令和7年の2,547人は、統計が残る昭和23年以降で最少

## 5 その他報告事項

令和7年中の交通事故情勢について

警察本部交通企画課

(3) 死者の年齢層別・状態別

	乗車(乗用)中			歩行中	死者数	死者数 に占める 年代別構成比
	四輪車	二輪車	自転車			
19歳以下	1		1		2	5.9%
20歳代	1	1			2	5.9%
30歳代				1	1	2.9%
40歳代		1		1	2	5.9%
50歳代	2	1		3	6	17.6%
60～64歳			1	1	2	5.9%
高齢者	9	2	4	4	19	55.9%
<b>総計</b>	<b>13</b>	<b>5</b>	<b>6</b>	<b>10</b>	<b>34</b>	<b>100%</b>

- 死者のうち高齢者が半数以上を占めた。
- 高齢死者のうち、四輪車乗車中の死者が約半数を占めた。
- 自転車乗用中の死者が6人と目立った。
- 歩行中死者は10人で、高齢者が多かった。

## 5 その他報告事項

### 令和7年中の交通事故情勢について

警察本部交通企画課

#### (4) 高齢運転者・高齢者の事故

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
人身事故件数	9,015	8,293	7,446	6,621	5,126	4,461	3,798	3,488	2,703	2,477
うち高齢運転者事故	2,086	1,979	1,920	1,875	1,438	1,316	1,124	1,089	875	789
高齢運転者事故の割合	23.1%	23.9%	25.8%	28.3%	28.1%	29.5%	29.6%	31.2%	32.4%	31.9%
死亡事故件数	45	42	32	39	35	29	32	30	39	34
うち高齢運転者事故	13	12	11	19	17	16	11	14	12	12
高齢運転者事故の割合	28.9%	28.6%	34.4%	48.7%	48.6%	55.2%	34.4%	46.7%	30.8%	35.3%
死者数	45	42	34	39	36	30	32	30	39	34
うち高齢者	30	20	23	29	30	18	18	18	24	19
高齢者の割合	66.7%	47.6%	67.6%	74.4%	83.3%	60.0%	56.3%	60.0%	61.5%	55.9%
宮崎県の人口 高齢化率	30.1%	30.8%	31.4%	32.0%	32.6%	33.1%	33.5%	33.7%	34.0%	34.4%

#### ○ 高齢化率との比較

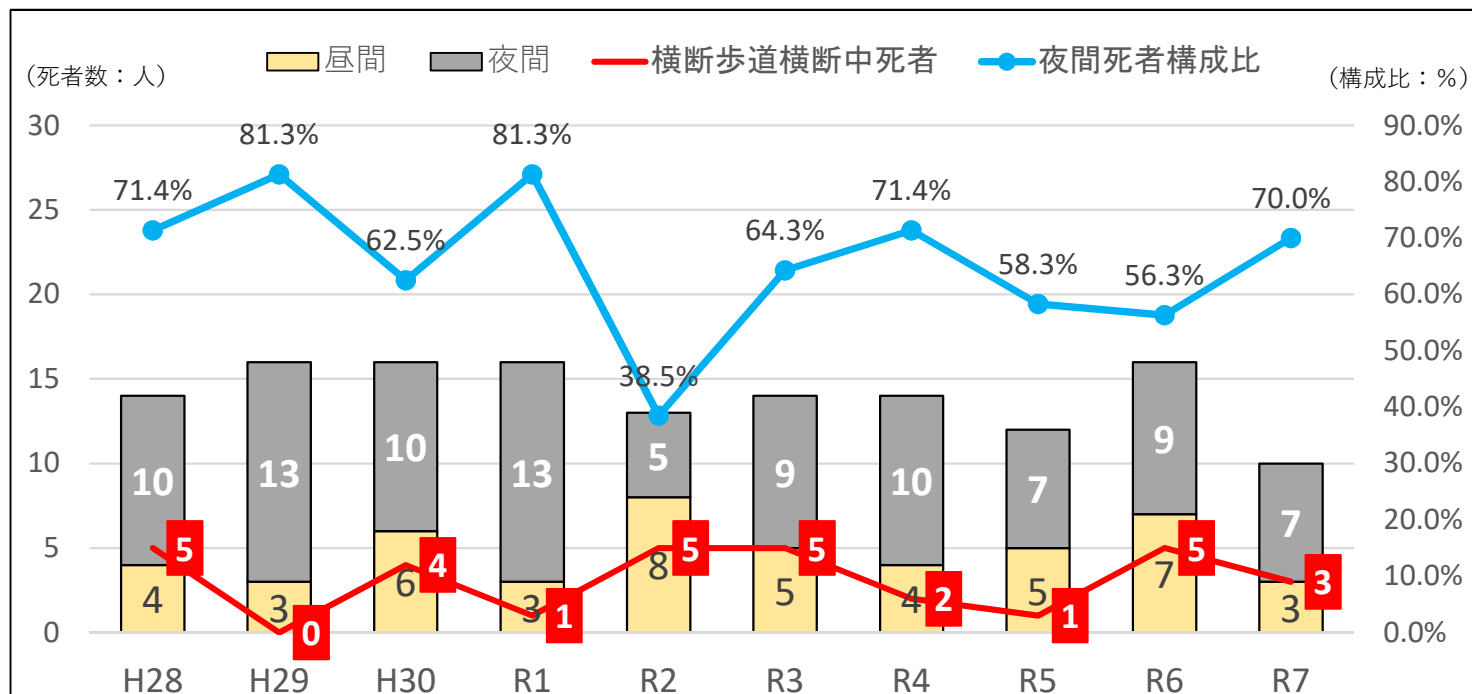
- ・ 人身事故のうちの高齢運転者事故の割合  
いずれの年も高齢化率より低いが、経年的に差が小さくなっている。
- ・ 死亡事故のうちの高齢運転者事故の割合  
多くの年で高齢化率を超えている。
- ・ 死者のうちの高齢者の割合  
全ての年で高齢化率を大きく超えている。

## 5 その他報告事項

令和7年中の交通事故情勢について

警察本部交通企画課

(5) 歩行者が死亡した交通事故



○ 夜間歩行中死者の反射材着用状況

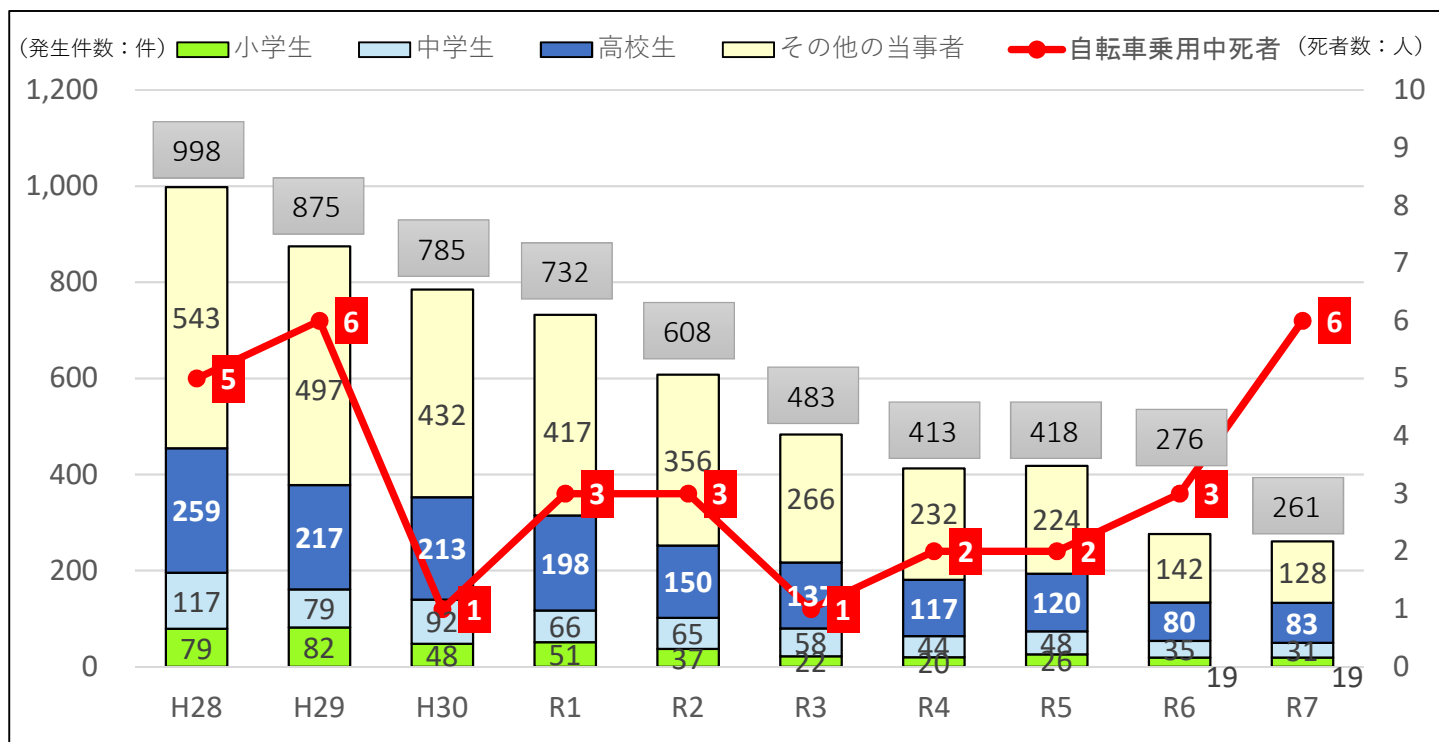
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	計
反射材あり	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3
反射材なし	9	11	10	13	5	9	10	7	9	7	90
反射材着用率	10.0%	15.4%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	3.2%

## 5 その他報告事項

### 令和7年中の交通事故情勢について

警察本部交通企画課

#### (6) 自転車が関与する交通事故



#### ○ 自転車当事者の法令違反・ヘルメット着用状況 (R7)

R7	小学生	中学生	高校生	その他の当事者	総計
当事者数	19	31	83	128	261
法令違反あり	94.7%	77.4%	84.3%	78.1%	81.2%
ヘルメット非着用	68.4%	41.9%	84.3%	75.0%	73.6%

## 5 その他報告事項

### 令和7年中の交通事故情勢について

警察本部交通企画課

#### 2 取組

##### (1) 高齢運転者対策

## 高齢運転者の皆さん 制限運転始めませんか？

「制限運転」とは？

運転者が自身の体調や運動能力を把握し、運転の時間帯や場所などについて、自らあらかじめ一定のルール(制限)を設け、それを守ることによって、交通事故の危険性を低減させる取組のことです。



**Q. 運転免許証返納とはどう違うの？**  
**A. 制限運転は運転免許証を返納することなく、自分自身で決めたルールを守ることによって、交通事故の危険性を減らし、少しでも長く安全運転を続けようという取組です。**  
 免許証を返納すると仕事や買い物、通院など、生活に様々な支障が出る可能性のある高齢運転者が多い実情を踏まえたものです。

**Q. ルール(制限)を破ると罰則があるの？**  
**A. 自分自身のルールです。守れなくても、罰則はありません。**

**Q. 運転に不安がある場合はどうすればいいの？**  
**A. 安全運転相談窓口#8080(シャープハレバレ)までお電話ください。(通話料は利用者負担となります。)**

#### 誓約項目 (一部抜粋)

- ☑ 体調が悪いときは運転を控える
- ☑ 1時間以上の連続した運転を控える
- ☑ 夜間の運転を控える
- ☑ 雨や雪などの悪天候での運転を控える
- ☑ 通学時間帯の運転を控える
- ☑ 速度を控えて運転をする など

県内の各市町村や県内13警察署と宮崎、都城、延岡の運転免許センターで、制限運転宣誓の受付を実施しています。また、高齢者講習を実施している自動車教習所でも制限運転宣誓の受付を実施しています。



制限運転宣誓  
(高齢者交通安全教室)

#### 宣誓者数(県内：累計)

	宣誓者数
令和3年	2,019
令和4年	6,097
令和5年	23,710
令和6年	54,355
令和7年	85,552

※ 各年12月末

## 5 その他報告事項

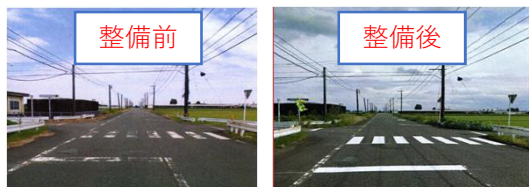
### 令和7年中の交通事故情勢について

警察本部交通企画課

#### (2) 歩行者保護対策

##### 交通安全施設の整備等

- ・ 横断歩道の整備



摩耗度の高い横断歩道を重点に約1,700か所を補修

- ・ モデル横断歩道の指定・整備



##### 交通安全教育

- ・ 交通安全教室

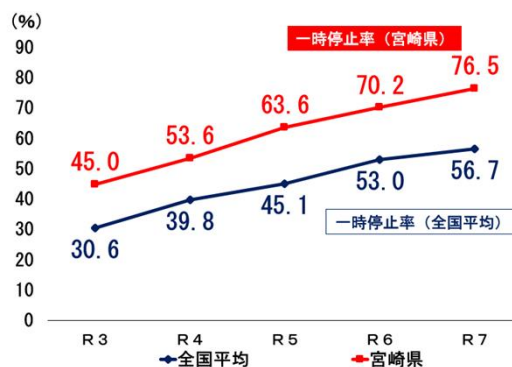


##### 交通指導取締り

- ・ 横断歩行者等妨害等の交通指導取締り



- ・ 横断歩道における停止率の向上 (JAF調査)



全国平均より19.8ポイント高い (R7)

##### 反射材着用促進・歩行者保護啓発

- ・ 反射材配布



令和7年中は、約2万3千個を配布

- ・ 交通情報板の活用

横断歩道は  
歩行者優先  
です。

横断歩行者  
がいたら  
一時停止！

県内24か所設置の交通情報板を活用

## 5 その他報告事項

### 令和7年中の交通事故情勢について

警察本部交通企画課

#### (3) 自転車対策

自転車乗車用ヘルメット着用促進、自転車のスマホ・酒気帯び罰則強化、交通反則通告制度の周知

・大型ビジョン等を活用した広報啓発



サンマリスタジアム  
(ヘルメット着用啓発)



宮崎駅前交差点  
(交通反則通告制度の周知)

・県教育委員会と連携した取組



高校生参加の交通安全サミット  
(オンライン)

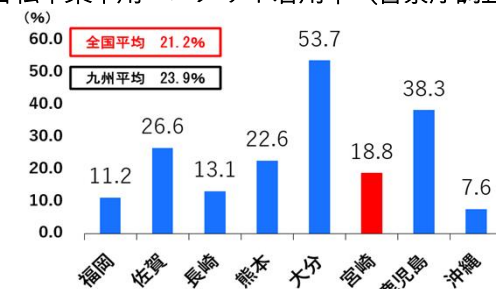
・学生との合同キャンペーン



・交通安全教室



・自転車乗車用ヘルメット着用率（警察庁調査）



※令和7年6月実施  
全国順位：19位 九州順位：5位